

津軽国定公園の公園計画の変更に関するパブリック・コメントの実施結果

番号	ご 意 見	件数	対 応 方 針
道路(車道)の追加に関するご意見			
1	<p>自然保護区や公園内にこれ以上の車道は不要である。なお、岩木山の上下を分断する環状道路は生態系を断っていることになり、また道路を作り開発が進むと大雨の際土石流が起こるなど自然災害が増すため、これ以上の道を作らないでほしい。また、道路造りは自然となじむ方法で、生態系にできるだけ悪影響を与えない工法を採用してほしい。</p>	2	<p>今回公園計画に追加する車道は、既存の県道を公園計画の道路として位置づけるものであり、新たな道路開発を目的としたものではありません。なお、公園区域内へ新たに車道を設ける場合は、自然公園法の許認可が必要となりますので、具体的案件が発生した場合は、自然公園法の基準に照らし、その適否を判断することになります。頂いたご意見は、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>
単独施設(弥生スキー場)の削除に関するご意見			
1	<p>弥生スキー場の跡地利用について、「美しい岩木山の景観と自然の保全」を第一義とし「ふるさとの森」として再生することを要求し、スキー場建設中止によって生じた更地は適切な手順を経て速やかに整備されるべき。弘前市が跡地を買い上げ、「岩木山弥生地区自然体験型拠点施設」を建設する計画があるが、市の他の施設等で代替可能であり、未来世代に借金を残すようなことはしないでほしい。まずはソフト面からの整備に重点をおき、森林を再生・復元し、自然観察に必要な知識を提供するための展示施設(エコ・センター)の設置を望む。</p>	2	<p>弥生スキー場は、今回公園計画から削除いたします。なお、当初建設予定されていた弥生スキー場は公園区域外において実施されており、公園区域内では整備されていません。なお、公園外のスキー場跡地利用については弘前市が検討しているところです。</p>
単独施設(ベンセ湿原)の追加に関するご意見			
1	<p>ベンセ湿原、コケヤチ湿原、その他の池塘の現況について、湿原の乾燥化が進んでおり、生態系がひどく破壊されている。地下水くみ上げによるスプリンクラーの使用、排水溝の掘り下げ、砂の採取など原因として考えられる。湿原の保全に努めるべき。また様々なゴミが捨てられている。</p>	2	<p>国定公園内では、各種人為的行為を規制することにより、その風致景観の保護に努めております。また、ベンセ湿原を園地とすることにより、事業執行者による適正な保護と利用が図られていくものと考えております。</p>
その他のご意見			

1	岩木山は優れた景観と山容を持ち、また山麓周辺の厚い信仰心を公園存在の最重要な意義としているが、スキー場が拡大することにより岩木山にどのような影響を与えているのか等の総合調査を行うべき。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
2	津軽国定公園(岩木山を含む)と世界遺産「白神山地」を併せて国立公園化し、保護の網をより強固に。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
3	岩木山の自然を守るには山頂だけの保護だけでは不足であり、特別保護地区は頂上付近だけでなく、もっと下部まで広くする必要はある。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
4	岩木川河口の湿原はアシガヤの産地であり、これの生育を助けるために野焼きが行われ、昆虫類の分布に多大な影響を与え、絶滅のおそれがある。野焼きの規模を小さくし、3～4年に1度などの制限を加える必要がある。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
5	鯉ヶ沢スキー場付近と拡張ゲレンデ予定地内の失われた自然の回復について検討が必要。中でもクマゲラとザリガニの保護及び生息調査並びにキタゴヨウの生育調査及び保存の必要がある。また文化財として十分価値のあるアスナロ林を天然記念物とすることも考えられる。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
6	岩木山の環状道路より高いところには、建物を建てることに反対。岩木山北側の部分は、多くの市民が利用する地域から見えにくいとのアセス報告があるが、北側には平滝沼、ベンセ湿原、十三湖などからも岩木山の景観がはっきり認められる。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
7	全国で300羽程度しか生息していないイヌワシは岩木山では繁殖できなくなった可能性があり、障害となるものの解明とその対策を講じる必要がある。また、連作できないためどんどん移動しながら面積を広げていくトモロコシ畑とサルやタヌキなど特定動物の増加など岩木山の自然には不安を感じる。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。

8	十二湖キャンプ場から青池までの車道はブナ自然林があり、距離も短いため、廃止すべき。一般の乗り入れ禁止となっており、特定の人たちだけが利用できる道などあってはならない。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
9	スカイライン・バスターミナルにおけるアオモリドマツ(オオシラビソ)は岩木山で生息する残り1本と考え、DNA鑑定など専門家の調査を含め、保存の方法を探ってもらいたい。また岩木山のコメツガは、中には直径が1mで樹齢が千年を越えるものもある。これらを早急に保護の対象とするべき。また、岩木山には登山客が無意識のうちに運び込む移入種が年々増加しており、移入種植物対策が必要である。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。
10	岩木山の工事跡地には、残土やセメント袋、ドラム缶まで捨てられている。林道においても、ゴミの不法投棄が多数見られる。他に赤石川の二股上流部では大量の空き缶その他ゴミが残置されている。このような事例は枚挙にいとまがない。 岩木山標高500mほどに現在も残るホテルが廃屋となっており、数年放置されている。行政の強力な指導と監督によって、岩木山山麓があるがままの自然に復帰することを願う。	2	今回のパブリックコメント募集に直接関係するご意見ではありませんが、頂いたご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。